

● プログラム<2日目/分科会>

2024年9月8日(日) 9時30分～12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第4分科会:孤独や孤立をふせぐ豊かな地域づくり ～つながりを紡ぐボランティアの役割～

<概要>

「地域コミュニティの希薄化」が言われて久しいわが国ですが、コロナ禍によって「人と人とのつながりの大切さ」が改めて実感されたところです。その一方で、孤独・孤立を感じている人は増加傾向にあることが指摘されています。

「困っているがSOSを出せない人」「誰かに話したとしても解決しないと思っている人」等、悩みも多様であり、望まない孤独・孤立を抱える人に対しては、当人の想いを尊重した「寄り添うケア」が有効だと言われています。そのためには行政や専門職だけでなく「住民目線のさりげない声かけ」「つながり続ける」という視点を含めたNPOやボランティアの役割は重要で、活躍している例は多く見られます。

本分科会では、孤独・孤立の要因となり得るさまざまな社会的課題を取り上げ、地域やボランティアにはどのような役割が求められるのか等について、今後の取り組みへの意識共有を図っていきます。

<登壇者>

司会・進行: 高橋 良太さん(全国社会福祉協議会)

実践発表者: 荒川 陽子さん(NPO法人地域生活支援オレンジねっと)

石井 正宏さん(NPO法人パノラマ)

平野 寛治さん(全国食支援活動協力会)

<プログラム>

9時30分～ オリエンテーション

9時35分～ 【実践報告】

地域での孤独・孤立への対応とボランティアの役割

10時30分～ 休憩

10時40分～ 【グループワーク】

『地域(活動実践者、ボランティア等)が孤立しがちな人たちとつながりを創っていくためには、どのような働きかけを行い、どのような活動を展開していくことが、つながり続けるうえで有効なのか。』

11時35分～ 登壇者コメント・まとめ

12時00分 閉会